かわにし

議会だより

第159号
2024
10.15

がんばるぞ

（10月5日　美郷幼稚園）　P23に関連記事

川西町議会H.P
QRコード

令和５年度決算　財源確保が課題に … 2
町政をただす　４人が一般質問 …… 13
意見交換会　３会場で開催 ……… 20
いいね！かわにし　街角インタビュー … 22

◦ 発行／山形県川西町議会　◦ 編集／広聴広報常任委員会　◦ 印刷／有限会社 笹原印刷
〒999-0193　山形県東置賜郡川西町大字上小松977番地1　TEL0238（42）6674　HP http://www.town.kawanishi.yamagata.jp

令和5年度
決算認定

施設の維持・更新財源が課題

9月
定例会

9月定例会のあらまし

9月定例会が、9月3日から20日までの18日間の会期で開催された。

第1日目に、人事1件に同意、令和5年度一般会計等健全化判断比率等報告2件の後、請負契約1件、条例2件、規約の変更1件、令和6年度各会計補正予算5件を一括上程し、常任委員会、予算特別委員会に付託した。監査委員による決算審査の結果報告があり、これを受け決算特別委員会を設置した。

また、令和5年度各会計決算認定7件を一括上程し、第3日目に決算特別委員会に付託した。

第2日目に、4人の議員が一般質問を行い、水田活用産地づくりプロジェクト会議、マイナンバー保険証、補聴器補助、熱中症対策などについて町政をただした。

第3日目以降、特別委員会、常任委員会、予算・決算特別委員会分科会を開催し、議案を審査した。

最終日に、付託した条例、補正予算、決算認定を原案通り可決後、契約1件のほか、議員発議による、「髙橋輝行議員に対する辞職勧告決議」などを可決し閉会した。

今定例会の傍聴者は6人だった。

財源確保と弾力的な財政運営を

令和5年度主な事業

①令和4年8月3日豪雨災害復旧関連事業
（大規模土木事業等のほかに、災害義援金、災害見舞金、住宅応急修理、水道料減免、商工業支援事業、農機具修繕更新費用補助など）
②まちなかテラス整備事業
（施設整備造成工事など）
③川西中学校改修工事
④大塚小学校プール改修工事
⑤かわにし夏まつりの開催
⑥フレンドリープラザ内に井上ひさし自宅書斎再現

一般会計は黒字

一般会計の歳入総額は129億8647万8千円、歳出総額は124億5690万3千円となった。

歳入歳出差引は5億2957万5千円となり、翌年に繰り越す財源2953万9千円を差し引いた実質収支は5億3万6千円となった。令和5年度の実質単年度収支は3475万9千円の黒字となった。

地方交付税は減額

最大の財源である地方交付税は53億5219万1千円で置賜広域病院企業団分を差し引いた本町純粋分は40億7351万4千円、前年比2億5309万円の減額となった。

借入金残高は増加

財政健全化法に基づく財政指標は国の財政指標（5ページ参照）をクリアしており健全と判断した。

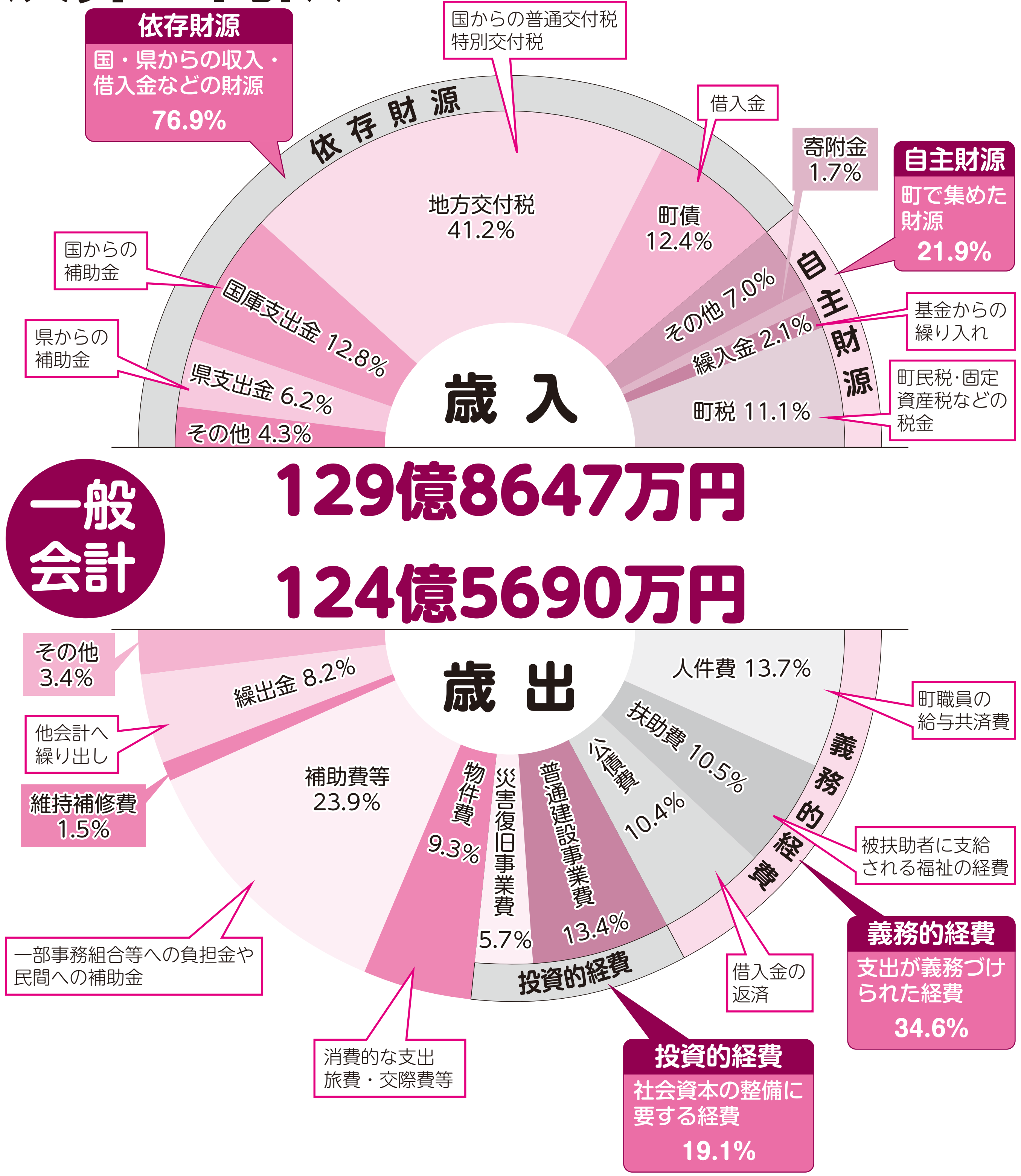
一昨年の8月豪雨の災害復旧の一部完了などがあったが、町債残高は増加した。

適正な財政運営を

大型プロジェクトの継続や公共施設の更新改修が相次ぎ、さらに自然災害が多発しており臨時的な財政支出が必要となるため、ある程度余裕を持った財政運営が必要である。

一層の行財政改革に努め、適正な財政運営を望む。

決算の内訳



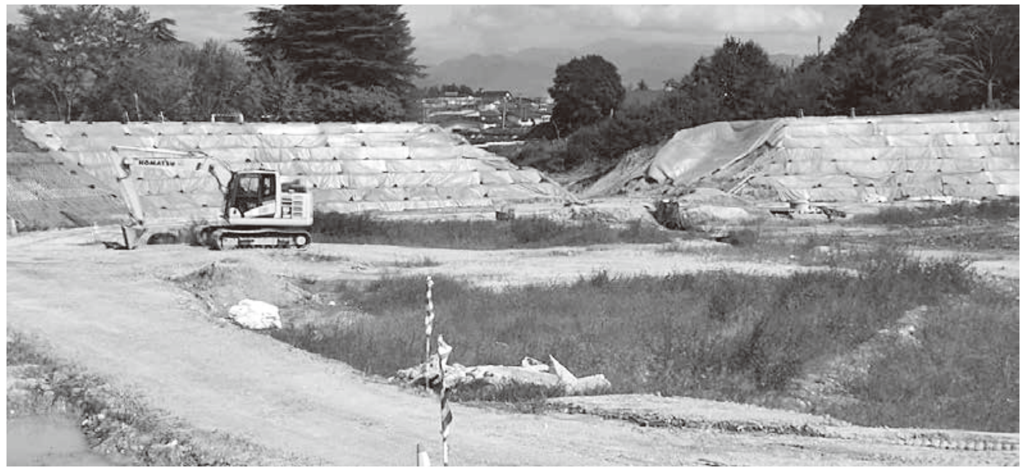
次は決算審議

災害復旧は順調に

決算審議

物価高騰のなか 地域再生を

決算特別委員会は常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など7会計を審査した。ここでは監査意見、総括質疑、討論、町長に対する質疑、各分科会での質疑を要約して報告する。



鏡沼改良復旧工事、順調に進む

買い物もつい慎重になりがち

令和５年度各会計決算の認定状況

会計別		歳入	歳出	認定の内容
一般会計		129億8647万円	124億5690万円	賛成多数で認定
国民健康保険事業特別会計		17億3930万円	17億329万円	全員賛成で認定
下水道事業特別会計		4億1352万円	3億6072万円	全員賛成で認定
農業集落排水事業特別会計		9869万円	7928万円	全員賛成で認定
介護保険事業特別会計		20億5709万円	20億1783万円	全員賛成で認定
後期高齢者医療特別会計		1億8864万円	1億8593万円	全員賛成で認定
水道事業会計	収益的※1	4億6251万円	4億3536万円	全員賛成で認定
	資本的※2	1億3810万円	3億210万円	

※1　収益的収支は水道水の収入と支出、資本的収支は水道施設に係る収入と支出

※2　不足する1億6399万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補填した。

一定程度の基金積立が必要

監査意見

一般会計

本町財政は、依然として地方交付税への依存度が高く、交付の多少により財政指数が大きく変動する。

人口減少による税収減、公共施設等の老朽化対策等、また災害、社会保障関係経費の増大といった、将来の歳入減少や、歳出増加への備えとして、標準財政規模の一定程度の基金積立を目指す必要がある。

国保事業会計

令和5年度の不能欠損額は1484万円で前年より629万円増え、収入未済額は4837万円で1268万円減った。年々減少しているものの、依然として滞納繰越が多い。一層の事務処理の見直しを図るべきである。

水道事業会計

黒字経営となっているが収支比率は年々低下している。人口減少により水需要の増加が見込めない中、類似町と比べると、高い料金水準にあり、料金引き上げも困難である。

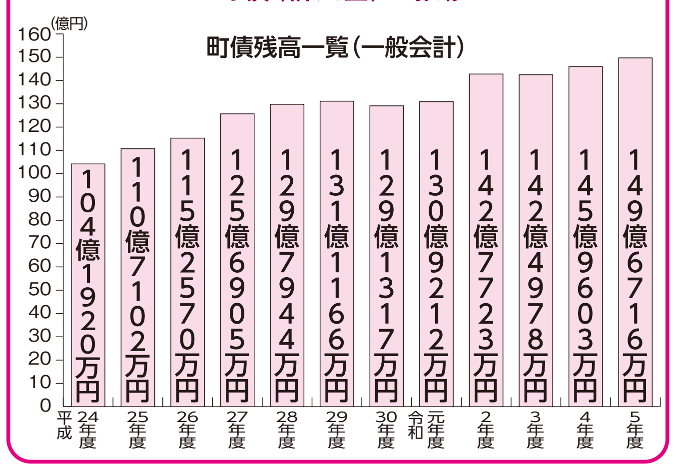
漏水調査により有収率が向上し、努力が認められるが、引き続き漏水調査や老朽管の布設替工事の計画的な実施を期待する。

収益確保と負担の公平性を確保するため未収金問題は早急に解消することが重要である。

監査委員　嶋貫榮次・鈴木孝之

ここが知りたい

町債（借入金）の推移



基金の残高

	財政調整基金	町債管理基金	標準財政規模に対する財調基金の割合
平成30年度	3億5996万円	989万円	5.6%
令和元年度	2億2167万円	1369万円	3.4%
令和２年度	4億524万円	7748万円	6.1%
令和３年度	6億97万円	1億8163万円	8.7%
令和４年度	5億982万円	1億1544万円	7.6%
令和５年度	5億9445万円	1億6742万円	8.9%

財政指標　令和５年度川西町一般会計等健全化判断比率

		実質赤字比率 一般会計の赤字額が※標準財政規模に占める割合	連結実質赤字比率 全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合	実質公債費比率 全会計の償還額が標準財政規模に占める割合	将来負担比率 将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合	公営企業会計に係る資金不足比率 資金不足の額が事業規模に占める割合
川西町		–	–	**12.7%**	**130.8%**	–
国の指標	早期健全化基準	14.15%	19.15%	25.00%	350.00%	20.00%
	財政再建の基準	20.00%	30.00%	35.00%	–	–

※標準財政規模　標準的な税収、地方交付税、地方譲与税等自由に使える財源の標準的な規模を表す。令和５年度の本町標準財政規模は67億1079万円。

次は総括質疑

総括質疑

「町民総活躍」の成果は

橋本欣一 議員

橋本 昨年度は5つのプロジェクトを中心に事業展開を図ったが、その中で「町民総活躍」の項目がある。具体的には何の施策を指し、その成果は。

まちづくり課長 コロナ後の復興に全力で当たった。個別の事業ということではなく、すべての施策、事業展開の中で町民の方の協力を得、コロナ以前の活動状況に戻す努力をした。

町長 新任のため、今後も十分に意識しながら施策展開したい。

5年度決算をどう評価

髙橋輝行 議員

髙橋 5年度決算の中に、職員の自死に伴う損害賠償が発生した。遅延損害金が含まれていることに賛成できないが決算をどう評価しているか。

町長 議員個々の判断はあるが、最終的には議会で議決されたものと認識している。

副町長 諸政策の実現に向け、職員の能力開発などを行いながら、スピード感をもって町政運営に取り組まなければならない。なお、これまでの経過等を踏まえ対応すべき内容もあると考えている。

討　論

反対討論

令和5年度一般会計決算「遅延損害金」に反対

髙橋輝行 議員

令和5年度の決算報告を受け、改めて令和5年度の町政執行を振り返ると、職員の自死に伴う損害賠償が発生したことに触れざるを得ない。あらためて、ご遺族に対し哀悼の意を表し損害賠償自体の発生は、当然なことと理解する。しかし、解決まで7年の歳月を要したことに伴い遅延損害金が発生した。

議会では、昨年8月の時点でこの補正予算について、僅差（賛成6反対5）で可決されたが、町民にはその遅延損害金の支出に対し疑問を抱かせ、町・議会に対し不信感を与えてしまった。

私としては、このような町民の声を真摯に受け止め、その遅延損害金が含まれている5年度決算に対し賛成することはできないため、反対の意思を表明する。

9月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
議員名	船山千鶴	鈴木孝之	寒河江寿樹	遠藤明子	渡部秀一	寒河江司	吉村徹	鈴木幸廣	神村建二	橋本欣一	髙橋輝行	伊藤進	井上晃一
第44号令和５年度川西町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	－
議第60号川西まちなかテラス整備地下水熱利用設備工事請負契約	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	－
発議15号髙橋輝行議員に対する辞職勧告決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	－

他の議案はすべて全員賛成でした。
○は賛成、×は反対、－は欠席。議長は賛否に加わらない。

町長に聞く

決算審議の分科会で、特に政策的な事項を町長に聞いた

共生社会の実現へ

第一分科会

問 令和5年度の財政の状況は。

町長 令和5年度は、メディカルタウン整備推進や地域振興拠点施設整備、第2子以降の保育料無償化、豪雨災害を踏まえた防災・減災対策、復旧工事等最大限効果ある予算措置に努め、計画かつ効率的な事業執行を図るとともに、景気対策、豪雨災害からの着実な復旧を目指し、財政運営に当たった。

近年の財政出動に関しては、メディカルタウン整備、地域振興拠点施設整備や既存施設の長寿命化等の未来への投資として経費がかさんでいると感じており、今後も公共施設等総合管理計画に基づく適正管理を行うとともに、整備した各施設の利活用を推進し住民活力の向上を図る必要があると考えている。

財政運営については、人口減少や少子高齢化の進展等により歳入の伸びが見込みにくい反面、社会保障関係経費は一層増加すると見込まれるため、事業の重点化と費用の抑制を図っていく必要があると考えている。

今後とも行財政改革や選択と集中による事業の見直しを行い共生社会の実現のため、取り組んでいく。

メディカルタウン分譲地

支援の継続を

第二分科会

問 商工団体（川西町商工会、川西町観光協会）への支援のあり方は。

町長 川西町商工会は、現在会員333人を数え、町内商工業者の58・8%の組織率となっている。

支援の在り方について、商工会の運営費は会費などの自主財源と町の補助金等で構成されており、町では毎年事業内容の精査を行い、補助額を決定している。

川西町観光協会は、昭和36年に川西ダリヤ園の売店を運営するために発足した任意団体が始まりで、個人会員84人、法人および団体会員51口、153の自治会会員で構成している。観光協会は人材面、財政面などその組織基盤がぜい弱で町観光担当との連携、支援が欠かせない現状である。

今後、町の活性化に向けて観光と交流の融合が重要になるものと捉えており、人材育成や各種団体との連携強化を行いながら、抜本的な組織の立て直しを図り新たな観光交流が展開できるように努めていく。

ダリヤ園売店

次は分科会審査

総務文教 第1分科会

自治会役員の負担軽減を

問 自治会活動推進事業の状況は。

まちづくり課長 人口減少に伴う役員の担い手不足により、役員選出に苦慮している。

意見 自治会長の負担軽減や報酬増額等、担い手不足を解消するための検討をすること。

問 メディカルタウン整備の進捗状況は。

政策推進課長 商業区域南側の進捗状況は、企業動向と梨郷道路川西交差点の交通量が増加している現状だ。

意見 住宅区域南側の推進のためにも、早期の商業者誘致に注力すること。

発送を待つ大量の配布物

問 損害賠償金費中、遅延損害金の和解案は。

総務課長 自死の日から和解案が表示されるまでの2508日（6年10カ月）で算定された。

意見 今後、同様の事案が発生しないよう、職員の勤務時間、実態を把握し、職員の健康保持に努めること。

問 地区交流センターの管理運営は。

まちづくり課長 各地区交流センターの指定管理期間は令和7年度末まであり、事務局職員の給与は各地区の規定に基づいている。

意見 物価高騰の中、次期指定管理料の積算に当たっては、センター長および事務局職員の処偶改善を検討すること。

問 放課後児童クラブの運営事業は。

教育文化課長 放課後児童クラブの運営を各団体に委託している。

意見 放課後児童支援員の人材確保と育成に努め活動内容等に差異が生じないようにすること。

問 スクールバスの安全運行は。

教育文化課長 スクールバスの運行全般に係る経費で安全運行に努めた。

意見 熱中症対策や冬期間の登下校時における児童生徒の安全確保に努めること。

安全な運行で登下校を

産業厚生 第2分科会

ふるさと納税 2億円を超える

問 ふるさと納税の寄付額と返礼品の実績状況は。

産業振興課長 昨年度の寄付額は2億円を超えており、返礼品の種類の掘り起こしもしている。

意見 納税額の拡大のため寄付者の要望に応えられるよう返礼品の確保と充実を図ること。

問 町が管理する公衆トイレの修繕状況は。

多彩な返礼品で満足度UP

住民課長 羽前小松駅公衆トイレについては、パイプつまりを改善するため早急に改善する。

意見 観光客など利用者が多いことから構造的な不具合を改善すること。

問 地域環境保全対策は。

住民課長 不法投棄、野焼きの防止対策、発見時の連絡体制を強化する。

意見 野焼きは、法律で禁止されていることを、なお一層周知徹底を図ること。

問 斎場の運営状況は。

住民課長 年次計画に基づき火葬炉設備等の維持補修に努めている。

意見 指定管理者と密に連携を図り、利用者の満足度向上に努めること。

斎場の維持管理は万全に

問 農事実行組合の現状は。

産業振興課長 農家の減少により、組合の維持に支障を来たしている。

意見 JAと連携して組織統廃合の議論を進めること。

問 みどり環境交付金事業の現状は。

農地林務課長 下小松古墳群の景観美化のため松枯れ材のチップ処理を行った。

意見 さらなる景観美化に向けて今後も継続し事業を進めること。

次は補正予算

子育て支援 児童手当が拡充

令和6年度一般会計補正予算（第3号）は、こども手当の充実や子育て世帯に対する物価高騰支援金、災害対策の追加予算、町民総合体育館屋根修繕予算他、決算で生じた剰余金を財政調整基金に積み立てる予算である。

子育て支援は町発展に重要な施策のキーポイントの1つ（小松保育所）

児童手当が所得制限撤廃

主な改正では、支給対象の所得制限をなくし、3歳未満第1子、第2子まで1万5千円、第3子以降は3万円で3歳から高校生年代まで第1子、第2子まで1万円、第3子以降3万円で年6回支給する。

臨時物価高騰支援子育て世帯応援券事業

物価高騰の影響を受けている子育て世帯への経済的負担軽減と地域経済活性化を図るため、ダリヤPayのカードで対象者1人6千円を配布する。

鏡沼災害復旧事業

鏡沼の掘削法面に湧水が生じる可能性が高く土留矢板設置が必要になった。

町民総合体育館改修事業

屋根の雨漏り改修事業で設計委託料。

花丘町下小松線防雪柵設置工事

従来より設置が進む花丘町下小松線の防雪柵を延長するため追加するもの。

主な質疑

問 **防災対策の内容は。**

安全安心課長 ※自動ラップ式トイレを災害ボランティアセンターに配備する。

意見 配備後の適切な運用や機器機能の検証をすること。

問 **財政調整基金管理は。**

財政課長 財政調整基金への積み立てを多くする。

意見 健全な財政運営を図ること。

問 **定額減税補足給付金給付事業は。**

財政課長 給付金の増額が見込まれ、対象者は2897件、給付金額は1億2350万円を見込んでいる。

問 **放課後児童クラブ運営事業は。**

教育文化課長 子ども子育て支援交付金の改正に伴う増額である。

意見 子育て支援の一層の拡充に向けた町の施策について検討すること。

問 **町債管理事務経費は。**

税務会計課長 繰上償還に伴い、本来支払うはずであった利子分を補償金として支払う必要があった。

※自動ラップ式トイレ
排泄後にボタンを押すだけで排泄物を自動個包装するトイレ。
臭いがなく、バケツ内の掃除の必要がない。

令和6年度各会計補正予算（第3号）

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計（第3号）	132億7178万円（6億8232万円を追加補正）	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計（第2号）	20億985万円（3566万円を追加補正）	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計（第2号）	21億608万円（3925万円を追加補正）	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計（第1号）	2億847万円（220万円を追加補正）	全員賛成により可決
下水道事業会計資本的支出（第2号）	2億9836万円（240万円を追加補正）	全員賛成により可決

令和6年度専決処分

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
水道事業会計収益的支出（2号）	4億4500万円（500万円を追加補正）	全員賛成により可決
資本的支出	2億7725万円（1170万円を追加補正）	全員賛成により可決

一般会計補正予算（第3号）の主な内容

（歳出）	
定額減税補足給付金事業	3000万円
臨時物価高騰支援子育て世帯応援券事業	1080万円
環境保全型農業直接支払い交付金	424万円
町民総合体育館整備事業屋根改修工事	285万円
財政調整基金積立金	2億5047万円
町債管理基金積立金	5000万円
（歳入）	
国庫支出金	2億8547万円
県支出金	1009万円
繰越金	3億3万円

防雪柵設置で冬道も安心 ＝ 花丘町下小松線

請願

川西まちなかテラスに関する町民の意見反映についての請願

継続審査

審議未了につき

次は人事・請負契約

人事

教育委員会委員の任命に同意

昆剛雄教育委員が9月30日で任期満了のため提案され同意した。

●**昆　剛雄氏**（再任）（小松）

令和2年10月に川西町教育委員就任（2期目）

全員賛成により同意

条例

印鑑、手数料

印鑑登録証明書の交付を受ける時、印鑑登録証に代えて個人ナンバーカード利用者証明用電子証明書（マイナンバーカード）を添えて申請することができる。

全員賛成により可決

（P23参照）

国民健康保険条例

行政手続きにおける特定の個人識別の番号利用に関する改正で、マイナンバーカードに移行するため保険料滞納世帯主に被保険者証の返還を求める規定を削除する。

全員賛成により可決

請負契約

まちなかテラス整備地下水熱利用設備工事

《請負金額》1億10万円

《受注者》日本地下水開発株式会社

《工期》令和8年1月30日まで

賛成多数により可決（反対2）

鏡沼地区農業用施設災害復旧事業変更委託

《請負金額》1億6127万円

《受注者》山形県知事吉村美栄子

《工期》令和7年3月31日

全員賛成により可決

安全・安心な治水を目指して＝鏡沼

交流施設がようやく着工＝まちなかテラス

辞職勧告

髙橋輝行議員に辞職勧告

度重なる問責決議、辞職勧告決議にもかかわらず、町民と議会に対して未だに説明責任を果たしていない。一連の行為は町民の信託を受けた議会議員としての自覚を欠く行為である。このことは、議員一人の問題にとどまらず、議会に対する町民の信頼を著しく失墜させた社会的、道義的責任は重い。町民の信頼を回復するため、自らの意思と責任において町議会議員を辞職することを勧告する。

提出者　遠藤　明子

全員賛成により可決

町政をただす

4人の議員がするどく一般質問

定例会第２日目に一般質問が行われ、４人の議員が町政について質問しました。（発言順）に掲載します。

鈴木　孝之　議員　（14ページ）
❶ 2026水田水張問題
② 小学校再編整備計画
吉村　　徹　議員　（15ページ）
❶ マイナ保険証
❷ 鳥獣被害対策
橋本　欣一　議員　（16ページ）
❶ 高齢者に対する補助
❷ ゼロカーボンシティー

寒河江　寿樹　議員　（17ページ）
❶ 幼児施設と小学校の今後の在り方・子育て支援の取り組み
❷ 幼児施設・小学校・中学校・町の公共施設等における熱中症対策
❸ 健康づくりに関するスポーツ活動と公共施設の安全環境

一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見ることができます。
（https://www.town.kawanishi.yamagata.jp）

白抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかったもの。

次は一般質問

まちの未来が見える（９月定例会の傍聴者は６人）

議会傍聴においでください

どなたでも傍聴できます
（事前連絡は不要です
役場３階においでください）

次回定例会は12月です

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。

川西町議会FB QRコード

川西町議会HP QRコード

※一般質問　議員が町の行財政全般に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。質問時間は１人につき質問答弁を含め60分以内とする。

一般質問

水田活用

2026水張り問題をどうする

町長 ― 営農継続対応を検討

鈴木孝之 議員

鈴木 水田活用推進プロジェクト会議の進捗状況は（2026水張問題）。

町長 これまでの活動内容として、地域ごとにブロック会議を開催しながら、生産現場における課題等について意見を集約、整理し、対策を検討するとともに、今年6月には、現場の意見を要望書にまとめ、国に対し提出する等、課題の解決に向けて、国に対する働きかけも積極的に行っている。今後は、近隣市町とも連携を図りながら、将来的な営農継続を可能とする対応について継続して検討していく。

鈴木 畑地化事業導入後の農家支援体制は。

町長 畑地化促進事業により支援を受けた水田については、水田活用の直接支払交付金の交付対象外となることから、定着促進支援の交付が終了する6年目以降の対応が課題となっている。

鈴木 土地改良区決済金等支援策は。

町長 土地改良区決済金等支援については、畑地化促進事業の支援メニューの一つとして、畑地化に伴い土地改良区の受益地から水田を除外する場合、土地改良区に支払いが生じる地区外決済金等について、国が支援する内容となっている。この支援を受けるためには、各土地改良区の受益地から除外できる水田であることが要件であり、除外の可否については、それぞれの土地改良区の定款に定めるところにより判断されることから、各土地改良区において対応の違いがあることは、町でも認識している。

町としては、土地改良区および国、県と意見交換を行いながら、支援を希望する農家に支援が行き届くよう努めていく。

その他の質問 生活環境の変化に伴う小学校屋内運動場（体育館）洋式タイプトイレ整備計画について質問した。

作物によっては収穫に時間がかかる

医療

マイナンバーカード保険証ひも付け状況は

町長 ― 町民の72.3%が登録

吉村　徹 議員

吉村 マイナ保険証としての登録はどのような状況か。

町長 本町では、令和6年7月時点で、登録率は、72・3パーセントとなっている。

吉村 マイナ保険証を持たない被保険者に発行される「資格確認書」とは。

町長 資格確認書は現行の保険証と同じカード型で、有効期限は一年間となる予定である。

吉村 マイナ保険証の利用の仕組みなどについて、丁寧に説明していく事が必要ではないか。

町長 保険証廃止の期日が近づく中、今後も国、県と連携しながら丁寧に説明していく。

吉村 マイナンバーカードの取得については任意であり、さまざまな考えのもと、取得しない方がいることや、医療機関においてのトラブルが多発していることなどから、現在の保険証の継続を求めていくべきではないか。

町長 今後もマイナ保険証の移行にあたっては、国や県に対し被保険者への丁寧な対応を求めていく。

鳥獣対策は

吉村 鳥獣などによる本町での被害状況は。

町長 クマに関しては県内でクマ出没注意報が発令される中、人身被害や農作物被害が懸念されたが、現時点での被害は確認されていない。

吉村 猟友会などに対する支援はどのように行われているか。

町長 新規に電気柵購入の際の助成、狩猟免許を取得する際に係る経費の助成、猟友会の運営に対する助成など従来からの支援を継続している。

吉村 イノシシにより水田や畦畔が崩されるなど、農家にとって深刻な被害となっているが対策は。

町長 生息環境管理と、加害個体の捕獲を合わせて実施していくことが重要であり、被害が大きい地域ではこれらの対策を総合的に実施できるように努めていく。

吉村 環境省は、来年度の概算要求で「指定管理鳥獣」の対策に向けた予算が計上されるとあるが、早めに情報の収集を図りながら、予算確保に当たるべきではないか。

町長 交付金の詳細については今後明らかになるため、今後県事業への申請を検討していく。

電気柵での被害対策実施

かわにしの　ここが聞きたい

一般質問

難聴

難聴者に補聴器購入補助を

町長 ー 支援策を調査検討する

橋本欣一 議員

橋本 難聴になると認知症になる可能性が高いと言われている。軽度からの補聴器使用により生活の質の維持を図り、認知症予防につなげるために、補聴器購入の補助を行ってはどうか。

町長 70代前半では男性の5割、女性の4割、70代後半では男女とも7割が軽度難聴以上の症状がみられるといわれている。

聴力の低下はコミュニケーションに影響し、孤立感、孤独感につながり、認知機能の低下につながるといわれる。

本町では、身体障害者手帳所持者には補装具の支給を行っている。

補聴器購入補助を行っている自治体は、今年度までに山形市、尾花沢市、庄内町、白鷹町、金山町が実施している。本町でも近隣の動向を踏まえ、検討していく。

橋本 検討だけでなく早期の実施を強く望む。

高齢者世帯に対するエアコン設置補助は

橋本 今年に入り、熱中症警戒アラートが頻発し、高齢者にとっては身体的にも非常に厳しい環境となった。エアコンの積極使用を進めるなど、生命にかかわる例もあり、設置のない家庭への補助により高齢者の熱中症予防を図るべきでは。

町長 高齢者の熱中症予防として、広報紙のみならず、民生委員などからの声掛けなどで注意喚起を行っている。エアコンを設置済みでも、体の負担、電気代、習慣などにより使用を控える方もいる。熱中症予防を啓発すると共に、設置補助も検討する。

ゼロカーボンの進捗は

橋本 本町は、ゼロカーボンシティ宣言で、2050年までに二酸化炭素排出ゼロを目指している。進捗がみられないが現状はどうか。

町長 具体的には、6月の環境月間に合わせて情報発信、太陽光発電・薪・ペレットストーブの購入補助、公共施設エネルギーの排出量の把握、再生エネルギー由来の電気使用などで目標を上回る結果を得ている。

補聴器早期利用で認知症予防

子育て

少子化による幼児施設と小学校の今後のあり方は

町長 ー 保護者・町民の方々と話し合い検討していく

寒河江寿樹 議員

寒河江 庁内に設置した公立幼児施設の今後の在り方検討委員会の検討状況は。

町長 ますます少子化が見込まれる中、乳幼児施設の老朽化を検討課題と捉え、今後の在り方、課題等を整理し早い段階で進めていく。

寒河江 「こども誰でも通園制度」への取り組みは。

教育長 こども家庭庁の説明会に参加し、実施に当たっては、事業内容や課題等を、関係団体との意見交換を含め研究していく。

寒河江 少子化による小学校の在り方について、今後は小松小学校以外は、複式学級が考えられ、各小学校の老朽化も考慮し、再編することが必要と考えるが。

教育長 望ましい教育環境の確保と多様な教育活動に対応できるよう保護者や地域の方々と話し合い、今後の在り方について検討していく。

寒河江 今後ますます温暖化が進むと考えられる中、学校・公共施設等における熱中症対策は全館全ての空調設備が必要と考えるが。

町長 学区再編に向けて検討する状況と合わせ、特別教室も含む全館に空調設備を整備するには、予算の効率的な執行を踏まえ、十分に検討をしていく。

スポーツの楽しさ体験は

寒河江 幼児から高齢者まで、障がいの有無や性別等にかかわらず町民の方々にスポーツの「楽しさ」や「喜び」を体験していただくための活動は。

町長 幼児から小学生対象の3つの教室（すくすく教室など）、幅広い年代を対象とした「らく楽教室」、高齢者を対象とした「元気アップ教室」を開催している。

また、障がいのある方には、現在実施していないが、今後は、ニュースポーツや障がい者スポーツの普及活動に取り組んでいく。

寒河江 川西町民総合体育館の雨漏りについて、修繕の予定は。

町長 川西町民総合体育館の雨漏りについては、10年くらい前から要望があり、本定例会において屋根改修工事設計業務の委託料に係る補正予算を上程した。

今後は、町民利用と体育館事業に支障を来たさないよう早急に対応していく。

みんな明るく楽しく ＝ すくすく教室

次は全員協議会

全員協議会

7/26 第６次川西町総合計画の策定方針を明示。

計画の趣旨

地域幸福度を高める第６次総合計画を策定するものである。

計画の視点

５項目視点の取り組み。⑴最上位計画としての計画づくり⑵新たな時代に対応する計画づくり⑶住民意見を反映した計画づくり⑷根拠に基づく計画づくり⑸地方版総合戦略などとの一体的な計画づくり

計画の構成

「基本構想」（10年）、「基本計画」（５年）および「実施計画」（３年）の３段階構成とする。

⑴基本構想（計画期間、令和８年度から令和17年度までの10年間）**⑵基本計画**（基本構想を前期５年、後期５年）。**⑶実施計画**（具体的事業計画を示し、３カ年の実施計画を別途策定）。ローリング方式による見直しを図り、効果的な進行管理を行う。

策定体制

まちづくり基本条例に基づく、住民参画による策定体制を構築し、住民がより身近に感じられる計画を策定する。⑴町議会⑵まちづくり委員会⑶その他住民参画①未来づくりカフェの設置②各種アンケート③ステークホルダーからの課題など情報収集の実施④パブリックコメント⑷役場組織体制

9/18 公募によらない指定管理者を選定。

全員協議会において、２施設についての説明があった。

たまにわ堆肥センター

指定管理者として適切に運営した実績があり、利用者からの信頼も厚く、本町の耕畜連携による地域循環型農業の推進に大きく貢献している。このことからたまにわ堆肥センターは、「株式会社ランドピードたまにわ」を指定管理者に選定することが妥当と判断したと説明があった。

かわにし森のマルシェ

運営組織、出荷者および消費者の信頼関係が最も重要であり、このことを十分理解し運営に努めている。店舗マネジメントに精通した人材も確保し、今後も安定した運営が期待できることから、「株式会社森のマルシェ」を指定管理者にすることが妥当と判断するとの説明があった。

地元産品がめじろ押し ＝ かわにし森のマルシェ

広報モニターから ひとこと⑤

玉庭　大滝　謙介 さん

バタフライエフェクト※

先月玉庭地区の敬老会がおもいで館（旧置農玉庭分校）で開催され、その準備の時になぜ今年はこっちでやるのかという話しを耳にしました。昨年までは玉庭小学校の体育館で敬老会は開かれていました。

聞くと、閉校してから現在玉庭小学校の使用は体育館とその脇のトイレ、水洗所に限定され遮断されているために今回の催しに対して充分な対応が取れない、だから調理場や来賓への待合室も確保できるこっちでやることになったのだ、と。

なるほど、地区唯一の学校が閉校するとはそういうことなんだな、と改めて実感。

一方ではて、こちらのおもいで館も数十年前には分校の役目を終えた同じ閉校校舎。

今なおこうして敬老会会場となるキャパシティと柔軟性、音楽合宿、バイク、子どもキャンプ、劇団、地区祭り、さまざまな団体に利活用される寛容な受け入れシステム。残った建物に「今」どんな意味付けをするかは自分たち次第なのだと感じます。

９月の議会を傍聴してひとこと。

自分が一票投じた議員を孤独にしてはならない。各々の議員は自らが選挙時に掲げた公約を遂行するために必死でした。そこには皆さんの一票一票が背景にあります。機会を見つけて議員に自分の思いを伝えてください。偉そうですが率直にそう思いました。

※**バタフライエフェクト**　小さな出来事が、最終的に予想もしなかった大きな出来事につながること。バタフライ効果ともいう。NHK「映像の世紀」のタイトル

委員会レポート

新たなまちづくりに向けて

総務文教常任委員会

７月17日、三菱鉛筆株式会社は二井町地区において新工場に関する説明会を行った。

新工場が操業開始すると旧工場の移転・解体など「まちづくり」に影響を及ぼすと考えられることから、委員会では協議会を行い、所管課より説明を受けた。

新工場は令和８年頃に移設操業され駅前工場の一棟西側は解体更地化される。

中心市街地活性化やまちづくりに向け、今後の動きを注視し検討する課題とした。

三菱鉛筆新規工場用地造成が進んでいる ＝ 二井町地内

福祉事業所の現況調査

産業厚生常任委員会

８月６日、町内にある福祉事業所、山形県総合コロニー希望が丘「まつのみ寮」および、令和５年創設された希望が丘地域福祉支援センター（旧高山小学校）内、相談支援事業所「だりや」の現況調査を実施した。

希望が丘「まつのみ寮」は、山形県社会福祉事業団により昭和53年から運営された施設。現在の総入所者数２３３人、「まつのみ寮」では男性37人、女性20人の知的障がい者が入所している。

現在は、築年数経過による施設の老朽化や、入所者の高齢化等が課題となっている。

また、希望が丘「まつかぜ荘」内で運営していた地域福祉支援センターを、旧高山小学校内に移転。令和５年４月に相談支援事業所「だりや」を新設し、本町と高畠町に在住の障がい者（児）の相談支援事業を開始している。

【実施している事業】

○デイサポートまつかぜ　定員30人
○希望が丘共同生活事業所（２事業所　８ホーム　利用定員59人
○相談支援事業所だりや
○置賜障がい者就業・生活支援センター

施設の１・２階のみ利用。体育館の利活用は今後に期待したい。

その他、公立置賜川西診療所施設整備に係る進捗状況や都市計画マスタープランの見直しの進捗状況について、各担当所管課より説明を聞いた。

地域支援事業開始

課題解決に向けて

次は意見交換会

意見交換会

3会場で開催

川西診療所・自治会の在り方で意見

小松地区

大塚地区

中郡地区

　町民との意見交換会が8月20日、21日の両日開催された。コロナ禍でようやく昨年2巡目を終え、今回から3巡目となる。

　今回は小松・大塚・中郡の3地区で行われた。

　意見交換会は、議会基本条例で定めている最重要項目の一つである。

　議員各自は議員活動の中で、地域の課題や個人の相談などの解決に向け努力をしている。しかし、大きな地域課題や政策的な事項に関しては議会として取り組んだほうが解決できる場合が往々にしてある。

　本町議会では、意見交換会で出された内容をまとめ、町に対し政策提言をしている。

　提言を一方通行としないところは、知る限り全国唯一である。

直近の課題で意見交換

　川西診療所は建築基準法改正以前の建物であり、築57年が経過し老朽化が著しい。早期に新施設への改築が必要で、そのため現状の課題整理を行い、新たな施設整備に向けた基本方針を示す「基本構想」および構想を踏まえた医療の取り組みと新施設の具体的な整備内容を示す「基本計画」を策定するとしている。

　自治会の在り方については、人口減少や3年間自粛のコロナ感染症後の社会環境の変化、生活環境の変化の中では、人の集まりが再開されたものの、構成世帯の減少や自治会加入に関する問題が出された。

　ご協力いただいた施設の方々と参加者の皆さん、関係者に感謝いたします。

『政策提言』手交へのご案内

第11回目の政策提言書の提出・手交式に町民の皆さんの傍聴をお願いします。

と　き　10月下旬～11月上旬（予定）
ところ　川西町議会議場

こんな質問・要望がありました

地区名	月　日	会　場	参加者	議　　員　（先頭が班長）
小松	8月20日㈫	川西町農村環境改善センター	28人	伊藤進、髙橋輝行、神村建二、吉村徹、寒河江司、渡部秀一、船山千鶴
中郡	8月21日㈬	中郡地区交流センター	9人	
大塚	8月20日㈫	大塚地区交流センタ	19人	井上晃一、橋本欣一、鈴木幸廣、遠藤明子、寒河江寿樹（欠）、鈴木孝之

質疑・要望・意見など	質疑への回答・今後の対応など所管課
⑴自治会の課題について	
○自治会が無くなった時のデメリットは何か。町報、回覧はどうなるのか。	●（持ち帰り回答） **【まちづくり課】**一般的には「地域コミュニティの希薄化」「地域の安全性の低下」「地域コミュニケーションの変化」等がデメリットと考えられる。町報等の町からの情報はインターネットにより入手していただくことができるが、不慣れな方や高齢者などデジタルデバイスを使いこなせない方に対して、地域の情報が伝わらないという恐れがある。
○配布物、寄付金協力金が多く負担となっている。	
○自治会に加入した時自治会の必要性を説明し理解してもらう必要があると思う。	●（持ち帰り回答） **【まちづくり課】**転入された方に対しては役場窓口での手続きの際に、「自治会加入のご案内」を配布し、「自治会」「自治会長」「自治会長の連絡先」を知らせている。
○自治会長報酬を上げてほしい。	●（持ち帰り回答） **【まちづくり課】**町から依頼している業務に対して報酬を支払っているが、今後依頼する業務内容の精査を行い、報酬額の改定について検討していく。
⑵公立置賜川西診療所の整備について	
○診療所をどういった目的で建て替えるのか明確化すべき。	●（持ち帰り回答） **【健康子育て課】**川西診療所は、町民の生命を守る「町民の家庭医」として、初期診療、回復期、慢性期の医療機能を推進する。また、「在宅医療を積極的に担う医療機関」および「川西町の在宅医療に必要な連携を担う拠点」として位置づける。
○このスケジュールでは町民の意見は反映できないのではないか。漠然とした内容で分かりづらい。	●（持ち帰り回答） **【健康子育て課】**スケジュールの見直しを図り、町民の意見の反映に努めていく。
○規模がわからない。ランニングコスト、医師・看護師の人数がわからないので想像できない。町民として、安心・必要性は理解する。	●常勤医師1名・医師1名・看護師３・事務職と相談員2名体制。有利な財源を探し、建設費用（解体含む）のみ町負担となる。規模は500㎡を目途としている。【当局確認済】
○健診センターを入れることはできないのか。	●要望として承った。
⑶その他	
○水害時の指定緊急避難場所へ、誕生川や黒川の橋を渡って避難できないのではないか。 ハザードマップはうまく機能しているのか。 また、豪雨災害は反映されているのか。	●（持ち帰り回答） **【安全安心課】**大雨による水害が発生した際の避難については、橋を通過できない場合は無理に避難場所へ避難せず、その時点において自身の命を守る行動をとってほしい。 　ハザードマップについては、令和4年8月大雨災害時においておよそハザードマップに沿った浸水であったと評価している。平時より自宅の予想浸水深を確認し、水害発生に備えるとともに取るべき避難行動について準備してほしい。 　過去の豪雨災害を受け、国において河道掘削等のハード整備が実施されている。また浸水を感知するセンサーを町内で27カ所設置し、情報発信のためのデータとすべく実証実験に取り組んでいる。雨が止んだ後も浸水が解消されない場所の排水のため、排水ポンプを２台配備している。
○メディカルタウンの公的土地は今後どうするのか。 災害対応施設、拠点となると思うが、医療的な役割に使ってはどうか。	●（持ち帰り回答） **【政策推進課】**公共エリアの利用については、「川西町メディカルタウン地方創生拠点施設整備基本構想検討委員会」を設置し、機能や活用方法について検討を行ってきた。 　公共区域の整備にあたっては、町の公共施設のあり方や財政状況を考慮しながら検討していく。
○町の予算が足りず国、県から認可の下りた基盤整備が15年先行われない。大規模農家の方がこの場所から手を引こうとしている。余った農地にかかる町民の負担も大きいがどう考えているか。	●（持ち帰り回答） **【農地林務課】**基盤整備をはじめとする県営農業農村整備事業は、要望を事業管理計画へ反映させた後、５年前後の調査期間と10年前後の工事期間が必要となる。整備完了まで年数を要することから、農家の方には負担をかけるが、将来を見据えて若手担い手等の意見も十分反映させた計画で要望頂くことが重要だ。また、改良区から町に要望を受けてもすぐに事業管理計画に反映できる訳ではないことを理解してほしい。

次は街かどインタビュー

いいね！かわにし 街かどインタビュー

小川優香理（ゆかり）さん（中山町）

マウンテンバイク歴約10年になります。「チーム銀輪」に所属。

自転車好きが集まってフレンドリー感がとてもいい。乗れる場所が少ないので、川西町の里山には毎年来て、仲間との交流を楽しんでいます。最高です。

渡辺　遥真（はるま）くん（小5）（福島県）

父と兄と3人で参加。

自転車は4才から始めました。マウンテンバイクで坂を下るのが気持ちいい。川西町の里山は自然豊かで、空気がおいしいです。

目標は、大会で1位を取ること。将来の夢はプロゴルファーになることです。

まどかで風呂に入って、近くでラーメン食べて帰ります（父）

本間　理紗（りさ）さん（小松）

「チーム白猿」のスタッフとしてお手伝いをしています。マウンテンバイクにはEバイク（電動式）タイプもあるので、女性でも気軽に楽しめるスポーツです。是非、いっしょに体験してみませんか。

県外参加者が多く、川西ファンになってもらうためにも、町からの支援をお願いします。

江本　久憲さん（小松）

ダリヤカップ大会と同時期頃に自転車を始めました。体力づくりがきっかけで、競技にのめり込みました。人と知り合い、自然と友達ができることがうれしい。現在はスタッフとして裏方で楽しんでいます。

内山沢の里山がキャンプ場として整備されれば活用度が増え、もっと人が集まると思います。

杉原　園香（そのか）さん　春陽（はるひ）くん（4才）（米沢市）

お父さんの影響で3才から自転車に乗り始め、自転車が大好きです。いつもパパと一緒に練習をしていて大会で1位を取れるように頑張っています。将来は家族3人そろってマウンテンバイク乗りができたらいいなと思っています。

井上　しほさん　景渡（けいと）くん（2才）（中郡）

近所に同じ年頃の子どもがいないので、いつも大人の中で遊んでいます。幼稚園デビューする前の練習をするため、子育て支援センター「こあら」に来ています。子育て中のママさんたちの情報交換もできていい施設ですね。イベントやさまざまな企画があり、楽しく参加しています。

髙橋　桃子さん　茅馳（ちはや）くん（10カ月）（小松）

子育て支援センター「こあら」は施設内が広く、伸び伸びと遊ぶことができます。予約なしで直接来て遊ぶことができるので便利ですね。土曜、日曜の利用可能で、とても助かっていますが、他の町には屋内で遊べる立派な施設があり、川西町にも新しい施設がほしいですね。

飯澤　美咲さん　笑漣（えれん）くん（9カ月）（大塚）

町のホームページで子育て支援センターを知りました。何回か来る内に顔見知りになりました。メディカルタウン整備が進み、近くに住んでいますが買い物も病院も近く、安心して生活できますね。現在は、育休中で、毎日が子育て中心の生活です。親子で楽しく過ごしています。

9/ 7㈯
9/10㈫

マウンテンバイクかわにしカップ会場と子育て支援センターでインタビューしました。
インタビューから出た要望などは政策提言などに生かしていきます。

追跡 あれから……どうなった！

住民票・印鑑証明がコンビニで交付に
マイナンバーカードで利用可能に

コンビニでの証明書交付

令和4年6月定例会
一般質問
窓口業務のDX

←

令和6年12月
コンビニで住民票、
印鑑証明が交付

令和4年6月定例会において、窓口業務のDX※（デジタルトランスフォーメーション）の一般質問があり検討していくとの答弁があった。以後庁内で検討されてきた。

町民の利便性向上および窓口業務の負担軽減を図るため、令和6年12月2日からコンビニで住民票や印鑑証明が交付されるサービスが導入される。

利用方法は、マイナンバーカードまたは、マイナンバーカードの情報が入ったスマートフォンを使用して、コンビニのマルチコピー機により利用者自ら暗証番号その他必要な事項を入力することにより申請交付できる。

町民の利便性は、町内はもとより全国のコンビニでも証明書が取得できる。また、申請書を記載する必要もなく夜間や休日でも、マルチコピー機を操作するだけで簡単に取得できる。

不便な面は、代理では取得できない。また、本人でもマイナンバーカードの暗証番号がわからないと取得できない。操作ミスによる証明書の差し替えや返金ができない。

利用料金は、おのおの400円（利用者負担）

コンビニ手数料やシステム手数料等は、町負担となる。

現在のマイナンバーカードの町内発行数は1万1418枚で町民の84・4％が所有している。

表紙の写真

がんばるぞ

10月5日「美郷幼稚園なかよし運動会」（園児30人、年長17人、年中7人、年少6人）が行われた。

くもり空で雨が心配されたが、代表園児4人による元気な選手宣誓で、雨雲も吹き飛んだようである。

種目によっては練習どおりに力をできなかった園児もおり、応援する親達はハラハラドキドキ。

それでも開催中は全員和気あいあいで、楽しい一日となった。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）
デジタル技術を活用して、新たなビジネスモデルそのものを変革すること

インタビュー 町民の声

スクールバス運行の見直しを

犬川地区にお住いの渡邉彩さんに子育て等、日常生活で感じたことをお聞きしました。

❖ プロフィール ❖

渡邉（わたなべ）　彩（あや）さん

川西町大字下小松
家族構成は、夫と子ども2人の4人家族
母屋に義父母居住
出身地 南陽市
趣味　ショッピング

川西町にきて

知人の紹介がきっかけで結婚7年目です。主人の実家敷地内に新居を建て、移り住んでから5年が経ちます。それまでは、町外のアパート住まいで、米沢市内の医療施設に勤めていました。

仕事、家事、子育て等、日常生活で感じることは

引っ越してきたと同時期に、町内の医療介護施設に転職しました。子育て支援策のおかげで、夜勤をしないシフトを組んで頂くなど、職員のみなさんから助けてもらっています。

夫婦共に交代勤務制の仕事なので、スケジュールを調整し合い、夫も積極的に子育てに協力してくれます。義父母にも孫の世話をしてもらい、本当に感謝しています。毎日が大変ですが幸せだと感じています。

川西町の印象は？

自然豊かでのんびりした地域です。でも、公立置賜総合病院が近くにあることや、メディカルタウン内に医療、商業施設ができて、買い物も便利になりました。若者世代の移住者が増え、町がもっとにぎやかになればいいです。

道路が整備された反面、交通の流れも変わり、交通事故にもつながるので、ドライバーは注意してほしいです。

町に望むことは？

近所には同じ年頃の子どもがいないことから、徒歩による通学が心配です。交通安全・防犯面において、スクールバス運行の見直しをお願いします。

また、子育て支援センターが町の中心部にあると助かります。

親子そろって充実した毎日を

編集の後で

▼新人議員ですが、昨年度より「議会だより」編集メンバーの一員として活動しています。編集の大変さを改めて再認識しました。▼2年の任期期間中に、一人でも多くの町民の皆さんに、「議会だより」に興味を持っていただけるよう努力していきます。▼今後もご指導ご協力をよろしくお願いします。

（寿樹）

発行責任者　井上　晃一
委員長　橋本　欣一
副委員長　鈴木　幸廣
委員　伊藤　進
同　寒河江　司
同　遠藤　明子
同　寒河江寿樹
アドバイザー（文章）　佐々木賢一
同　遠藤　勝則
アドバイザー（写真）　山田　順一
齋藤　文夫